

佐伯市立中学校「制服の在り方」に関する基本方針

佐伯市内の中学校では、学校ごとに標準服（制服）が決められており、詰襟・セーラー服が10校、ブレザー型が2校となっています。

近年、性の多様性に対応する流れとして、性別に関係なく制服を着用できるようにする動きが、県内の他市町村でも見られます。本市においても、児童生徒、保護者へのアンケート結果から、見直しを求める意見も多く、多様な性への配慮、保護者の負担軽減、機能性の向上等に関する声があがっています。

令和3年12月から、学識経験者、保護者代表等で構成する「佐伯市立幼稚園及び小・中学校教育問題検討協議会」を設置し、「制服の在り方」に関する諸課題の解決に向けて検討を行い、令和5年1月に基本方針の提言となる答申を受けました。

佐伯市教育委員会では、答申や児童生徒、保護者のアンケート結果を踏まえ、このたび「佐伯市立中学校「制服の在り方」に関する基本方針」を以下のとおり策定しましたのでお知らせします。

今後、この基本方針をもとに、多様な性への配慮、保護者の負担軽減、機能面の向上等を勘案して、中学校統一の「佐伯市版標準服」の導入に向けて準備を進めていきます。さらに、他市の事例を研究し、児童生徒、保護者等の意見も伺いながら、議論を深めていきますのでご理解、ご協力をお願いします。

記

1. 新制服の導入について

導入に関しては、児童生徒及び保護者の意見を十分に取り入れられる期間と場が必要であることと、制服販売店の準備期間の確保が必要なことから、佐伯市版標準服の導入時期は、令和7年4月を目標とします。

2. 販売価格・製造について

保護者の経済的負担の軽減や多様な選択肢の確保を図るために、希望販売価格を設定するとともに、基本的な仕様は統一するものの、メーカー間の競争を促し、より経済的で良質な製品が各メーカーから供給されるようにします。

3. 佐伯市版標準服について

○市内12中学校、統一型の制服とします。

○佐伯市版標準服（男女兼用）

- ・ブレザー ・ボトム：スラックス、スカート
- ・シャツ ：長・半袖カッターシャツ（白色）、長・半袖ポロシャツ（無地白色）

4. 導入における配慮について

導入に係る諸課題及び児童生徒・保護者の要望にできる限り対応するために、下記のことにより配慮しながら新しい制服の導入を検討していきます。

■経済的な配慮

- ・制服価格の学校間差をなくすために、統一型とすることで、数量をこれまでより確保し、
価格を下げる。
- ・現行以下の価格設定をめざす。
- ・シャツ、ポロシャツについては、既製品の導入も検討する。

■生徒への配慮

- ・スラックス、スカートが自由に選べるようにするなど、男女差のないものを導入する。

■機能面への配慮

- ・寒暖差に対応しやすく、また、様々な活動の支障にならない動きやすいデザイン、生地等にする。
- ・耐久性に優れ、洗濯やアイロンなど家庭での手入れがしやすい素材等を採用するとともに、生徒の成長に対応できる仕様とする。

■販売店への配慮

- ・市内全販売店で取り扱えるよう配慮する。

5. 今後のスケジュール

令和5年	4月	基本方針に関する意見集約
	5月	業者説明会
	10月	<u>デザインサンプル展示会 児童生徒・保護者による投票</u>
	11月	マスターメーカー決定 細部検討
	12月	マスター仕様書完成 各メーカーへ発注依頼
令和6年	1月	佐伯市版新標準服デザイン発表
	3月	各メーカー試作品チェック
	11月	佐伯市版標準服完成
	12月	販売店での採寸開始
令和7年	4月	佐伯市版新標準服の導入